

# 事務事業評価シート

H27(標準事業)

① 基本事項	計画コード	事業名	部名	教育委員会
	19182-1	コミュニティスクール推進事業	室名	教育研究室
	基本施策の大綱	05:次世代を担う人づくりと歴史文化の振興	財	会計 一般会計
	基本施策	01:子どもたちの学びと健全育成	務	款 教育費
	施策の方向	01:信頼と活力あふれる学校づくり	科	項 教育研究費
戦略プロジェクト		目	目 教育研究費	

② 目的・概要	対象	亀山市立加太小学校、川崎小学校、昼生小学校
	目的	・保護者及び地域住民等が学校運営に参画することによる学校教育の充実を図り、地域に開かれた信頼される学校づくりをすすめる。
概要		・学校運営協議会を設置し、保護者や地域住民とともに学校の運営を行う組織づくりをすすめる。 ・先進校への視察や研修会への講師招聘を通じて、学校運営協議会のあり方について研究をすすめる。

		27年度	28年度
①	名称	学校運営協議会	計画値
	補足	学校運営協議会開催回数	実績値 22 単位 回
②	名称	学校運営協議会委員数	計画値
	補足	加太小学校、川崎小学校、昼生小学校における委員数	実績値 39 単位 人
③	名称		計画値
	補足		実績値 単位
④	名称		計画値
	補足		実績値 単位

年度計画				年度実績			
④ 事業の計画・実績					・加太小学校学校運営協議会6回 ・川崎小学校学校運営協議会11回 ・昼生小学校推進委員会5回 ・昼生小学校先進校視察等1回 ・昼生小学校コミュニティスクール研修会1回		
	事業費	計画額	予算額	決算額	総人件費 ①	303	平均給与額×③
	国庫支出金		202	186	一般職員人件費 ②	303	
	県支出金				所要人員 ③	0.04	
	地方債				臨時職員人件費 ④		
	その他				受益者負担額 ⑤		
	一般財源		202	186	受益者負担率	0.0%	⑤ / ⑥
	再	翌年度への繰越額					
	掲	前年度からの繰越額					
		総人件費		①	303		
	総コスト		⑥	489			

⑤ 事業の評価	【事業の成果】	総合判定
	・加太小、川崎小に続いて、本年度から昼生小がコミュニティスクール指定校となり、学校・地域の熟議の場が広がった。 ・学校・地域の連携・協働の機会が増えたことで、保護者や地域住民の学校への関心が高まり、来校者が増え、子どもや保護者・地域住民とのつながりが広がった。 ・学校運営に保護者や地域の意見を反映させることで、子どもたちの豊かな成長を支える学校づくりを進めることができた。 ・学校行事と地域行事の連携が図られ、教育活動が充実した。	<b>A</b> 順調に進んだ

⑤ 事業の評価	【反省点・課題】
	・指定校3校の取組を、市内他校にも広げていく必要がある。 ・学校運営や学校評価により多様な意見を取り入れる必要がある。

⑤ 事業の評価	【改善の方向性】
	・コミュニティ・スクール指定に向けた研究校を設定し、地域との連携の在り方を熟議する場を増やす。 ・継続的に続けられる組織や運営のあり方を見据えるとともに、様々な立場の方々に参加してもらえる組織づくりを工夫する。

事業目的の妥当性: 適切      有効性: 適切      最終評価確認者: 教育研究室長 伊達 弘